

## 会 員 名 簿

大 場 恒 明  
加 藤 二 郎  
北 澤 義 弘  
竹 内 佑利子  
野 間 一 正  
復 本 一 郎

## 編 集 後 記

\*ここに発足時のメンバー五名全員の執筆による「麒麟」創刊号が無事発刊されたことを、まずは自祝したい。  
\*表紙の題字および図柄は中村楊齋著『訓蒙図彙』（寛文六年刊）によったものである。

\*巨視的、微視的と多様な研究方法による多様なテーマの五編が集まったわけであるが、いずれも、真正面から、あるいは前代から、あるいは後代からと、十七世紀を見据えつつの諸論としての共通点を持っている。

\*北澤は英文学、加藤は独文学、大場は仏文学、竹内はオーストラリア文学・児童文学、復本は日本文学（俳文学）を専攻とするものである。次号よりスペイン史専攻の野間が加わり、一段と賑やかになる。

\*二号、三号と号を重ねることによって、共通テーマでの特集号などもくろんでいける。

\*このような研究会の発足、そして雑誌の発刊に理解を示された神奈川大学当局、および経営学部（の諸先生、諸氏に深甚なる謝意を表したい。

\*今号の諸論に対して、忌憚のない御意見、御批評を賜われれば幸甚である。

\*十七世紀文学研究会の主旨に興味をお持ちの経営学部の諸先生、諸氏の入会を歓迎する。

(F)